



# あひるぐみだより

2021年度1月号  
尚徳福祉会生麦保育園

あけまして  
おめでとうございます



お正月休みは楽しいことがたくさんあったのでしょうか。久しぶりにみる子どもたちの笑顔に心弾む新年です。子どもたちが自分でできることは見守りながら応援し、できるようになったことを一緒に喜び、進級に向けて期待が高まるように楽しく過ごしていきたいと思います。今年もよろしく願いいたします。

## クリスマス制作

緑色の丸い画用紙に、クレヨンでお絵描きをして、マスキングテープや丸めた毛糸を貼り、リースを作りました。作り方を見ながら、お話を聞くと、やり方を理解した子もいて、クレヨンで描き終わると、「テープちょうだい」と保育者に言葉や仕草で伝えていました。みんなの作品を壁に貼って、ツリーのようになったリースを見上げながら、「〇〇ちゃんの」「あった」と賑やかな話し声が聞こえました。



## 干支の制作



手形を体にして、トラを作りました。黄色の絵の具を筆で手に塗ると、くすぐったそうに「うふふ」「ハッハ」と笑顔があふれた子どもたち。画用紙に自分の手形が写ると「んっ!？」と不思議そうに眺めていました。手を洗い終えても「もっと」「もう一回」とリクエストが出るほど感触が面白かったようです。目や口には、黒と赤の小さなシールを貼りました。「おめめよ」「おくち」とつぶやきながら真剣な表情で場所を考えながら貼っていました。個性あふれるかわいいトラが並ぶ階段の踊り場。元気に登園できそうですね。

## 子どもたちの様子

友だちのそばに行って同じ遊びをしたり、笑いかけたり、片言で気持ちを伝えようとしたり、一緒に遊ぼうとする姿が多く見られるようになってきました。園庭の砂場に行くとアイス屋さんや、同じお鍋をならべてお料理など、簡単なごっこ遊びを楽しむ姿や、保育士と一緒に5、6人で手をつないで輪になり【むっくりくまさん】【なべなべそこぬけ】など集団遊びをしています。「おなじね」「どうぞ」「ありがとう」と楽しそうな声が聞こえることもあります。うまく伝わらなかったり、思うようにいかなかったりして、困っている声が聞こえることもあります。そんな時には、「お友だち使っているね」「〇〇ちゃんも入れてほしいって」と言葉を補足しながらお互いの気持ちを分かりやすく保育者が伝えるようにしています。

自分でやりたい。と、洋服や靴などの身支度にも挑戦しています。自分の靴下やジャンパーを見つけると「あった」と持ってきて、できると「みてみて」「できた」と嬉しそうな子どもたちです。食後には、洋服の汚れに気づきかごから洋服を選び着替えようとする姿も見られます。

これからも、子どもたちに寄り添いながら声を掛けたり、「手伝って」と甘えたい気持ちも受け入れたりしながら、成長を見守っていきたいと思います。